

第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート

基本施策名	基本施策4_千葉文化の担い手を「つなぐ」		
	(2)多様な協働・連携の促進		
事業名	2020おもてなしプロジェクト		
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉市文化振興財団	
市との関わり	その他	企画提案事業	指定管理者
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961 (内)90-2526

【評価指標】

1 基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、こども・若者、領域の広がり）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
3 事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
4 市民との関わり（満足度、周知度）
(満足度) 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
(周知度) 会場となる文化センター内においても、広報物があまり目につかないというような印象があり、もう少し工夫が必要と考える。
5 効果（活動の活性化、費用対効果、その他の効果）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等

【提言】 ※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A：継続 <input type="checkbox"/> B：改善 <input type="checkbox"/> C：見直し
※「今後の方向性」の選択結果を踏まえ、今後の事業実施に向けてのご意見・アドバイス等を記載 ・事業の目的を明確にした上で、広報について、より効果的な方法を検討いただきたい。 ・伝統芸能の題材として「紙芝居」を選択したことについて、その意味や伝えたいテーマをより積極的に議論していただきたい。 ・オリンピックの延期に伴い、事業構造の変更が必要ではあるが、多文化共生に繋がる積極的意味を持つ事業であると考えられるため、今後のより良い事業実施に向け、継続的に努力していただきたい。	